



# 宇久中だより2017

佐世保市立宇久中学校 学校通信  
(平成29年11月3号)  
文責 校長 田雑 健  
平成29年11月17日(金)発行

**学校教育目標** : ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる生徒  
**めざす生徒像** : 素直で心豊かな生徒・自ら考え、主体的に学ぶ生徒・強くたくましい生徒  
**宇久中生徒の5励行** : 心のこもったあいさつをする 授業に集中する 生徒会活動や部活動に励む  
大きな声で校歌を歌う 清掃活動に力を入れる

## Be yourself 自分らしく生きること

11月7日(火)、本校図書室にてキャリア講演会を開催しました。この会には高校から1・2年生の先輩方も参加されました。

今回は講師として、アメリカ大使館経済部にお勤めの宮島智美さんにお出でいただきました。

講演の前に、少々お話しする機会があり、その折に、今回アメリカのトランプ大統領来日でさぞ大変だったでしょうかとうかがうと、一足先に来日された娘のイヴァンカ補佐官の担当だったので、何とか宇久に来ることができましたとおっしゃっていました。

会では、CAとして、大使館スタッフとして、様々な経験をされた一端をお話いただきました。

将来を思い描く上で、参考になった人も多いのではないのでしょうか。今回のお話を参考にして、自分の夢・憧れ・志を生かすために、何が必要なかを考えていきましょう。

## 火の用心

11月9日～15日

秋季全国火災予防運動

「火の用心

ことばを形に 習慣に」



## 花植え活動を行いました



8日(水)、朝方の雨で予定を変更し、午後から行政センター前通りのフラワーポットの花植えを行いました。2回目となった今回も主催の老人会の皆様からご指導を受けながら、途中途中で話の“花”も咲きつつ、楽しく活動することができました。

老人会の皆様には、予定変更にも快く対応いただき、その上活動後には差し入れまで頂戴しました。大変お世話になりました。紙面を借りてお礼を申し上げます。

自分たちが日々通る道筋を、手をかけた花が彩るということは素晴らしいことです。



活動後に老人会の皆様と

11月15日 市中学校音楽発表会、無事終了しました。ご声援ありがとうございました。くわしくは次回11月4号で紹介します。

## 全国学力・学習状況調査の結果より



全国の子童生徒の学力と学習の状況を把握し分析することで、教育の結果を検証し改善を図ることを目的として、今年4月18日に【全国学力・学習状況調査】が小学6年生と中学3年生を対象に実施されました。

調査は

### ○教科に関する調査

国語と数学が行われ、それぞれ「主として知識に関する問題（A問題）」と「主として活用に関する問題（B問題）」がありました。

### ○生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査の2種類が行われました。

全国及び本県の調査結果については、新聞等でご覧になられた方も多いかと思います。

本校でも調査結果を分析し、学校全体としての課題を明らかにした上で、授業改善に努め、生徒一人一人の学力向上に努めてまいります。

以下、本校の調査結果の概略です。

## 国語

< A問題について >

○全国・県の平均正答率を上回っており、基礎的・基本的内容は定着しているものと思われる。

○しかし、「読むこと」については、「説明文に何が書かれてあるか、まとめたものから正しいものを選ぶ」問題での正解率が低く、読み解く力の向上が課題である。

< B問題について >

○全国・県の平均正答率を若干下回り、活用する力の向上が課題である。

○一方、「必要な情報を得るための見通しをもって記述する」問題は全員正解であった。

### 【今後の取組】

○現在行っている「視写」「要約」「意見作文」に加え「読むこと」も週末課題とし、学習の機会を増やす。必要に応じて個別指導を行う。

○読み解く力の向上については、読み解くための方法を理解させ、「何が書いてあるのか」「何を訴えたいのか」を常に考えて、文章を読む・話を聴く態度を育てていく。

## 数学

< A問題について >

○全国・県の平均正答率をわずかに下回っている。

○なかでも、「おうぎ形の弧の長さ」や「円柱の体積」を求める問題など、公式を利用して計算する問題の正答率が低かった。

< B問題について >

○全国・県の平均正答率を上回った。

○無答率は低く、記述式の難しい設問であっても、ほぼ全員が何らかの解答を記述していた。

○正答率が低かった問題は、比較的難易度の低い問題であり、基礎的・基本的な内容の定着と活用に課題が見られる。逆に、「説明する」問題や「証明する」問題では平均正答率をほとんどの問題で上回っていた。

### 【今後の取組】

○現在実施している前時の振り返りテストを継続し、基礎的・基本的な内容の定着を図る。

○定期的に週末課題の出題や単元テストを行い、長期的な取組のなかで実力向上を図る。

○5問テストや週末課題・単元テストの結果を基に、個別指導を行う。



## 生徒質問紙調査結果

○「ものごとを最後までやり遂げて嬉しい」、「自分の意見を友だちの前で発表することは得意」という項目で、全国平均を上回っている。

○家庭で宿題をしている生徒、復習をしている生徒は全国平均を大きく上回っているが、予習については、下回っている。

○文章を書くことに抵抗がない生徒の割合が、全国平均を大きく上回っている。

